

D-Case Editor の機能拡充に関する開発  
環境構築手順書

18/JAN/2013

AXE, Inc.

## 改訂履歴

更新日	版	内容	担当
18/JAN/2013	0.8	新規作成	白田@AXE

# 目次

1 はじめに.....	4
1.1 概要.....	4
1.2 関連文書.....	4
2 環境.....	5
3 構築手順.....	6
3.1Eclipse のインストール.....	6
3.2Eclipse プラグインのインストール.....	6
3.3D-Case Editor のインストール.....	6
3.4 テンプレートプロジェクトのインポート.....	7

# 1 はじめに

## 1.1 概要

本書は、独立行政法人 科学技術推進機構(以下、JST)が行う戦略的創造研究推進事業の研究領域である「実用化を目指した組込みシステム用ディペンダブル・オペレーティングシステム」(以下、DEOS プロジェクト)において開発中の、Dependability cases(以下、D-Case)の作成を支援するツール「D-Case Editor」の環境を構築するための手順を記述する。

本書内に記述されている Eclipse などのバージョンは、開発時のものである。そのため、必ずしも同一のバージョンが入手できるとは限らない。必要に応じて読み替えていただきたい。

## 1.2 関連文書

- The Eclipse Foundation  
<http://www.eclipse.org/>
- java.com  
<http://java.com/>
- Eclipse3.4 プラグイン開発 徹底攻略 毎日コミュニケーションズ (ISBN978-4-8399-2972-5)

## 2 環境

下記の環境を想定して、環境構築の手順を説明する。

- Microsoft® Windows® XP SP3
- Oracle Java SE Runtime Environment 7 Update 6
- Eclipse IDE for Java Developers (Indigo SR2 32bit)
- Graphical Modeling Framework(GMF) Runtime (1.5.0)
- OCL End User SDK (3.1.2)
- D-Case Editor (下記の jar ファイル)
  - net.dependableos.dcase\_0.8.9.axe.20130118.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram\_0.8.9.axe.20130118.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram.common\_0.8.9.axe.20130118.jar
  - net.dependableos.dcase.diagram.editor.\_0.8.9.axe.20130118.jar
  - net.dependableos.dcase.edit\_0.8.9.axe.20130118.jar
  - net.dependableos.dcase.toolchain.dcasedb\_0.8.4.201205091349.jar
  - net.dependableos.dcase.toolchain.dfops\_0.8.4.201205091349.jar
  - net.dependableos.dcase.toolchain.dsbench\_0.8.4.201205091349.jar
  - net.dependableos.dcase.toolchain.redmine\_0.8.4.201205091349.jar
  - net.dependableos.dcase.toolchain.uml2tools\_0.8.4.201205091349.jar
- テンプレートプロジェクト (下記のアーカイブファイル)
  - D-CaseTemplate.zip
- +Lhaca などのアーカイブユーティリティ

## 3 構築手順

Windows および JRE(Java Runtime Environment)は導入済みという前提で、以降を説明する。

### 3.1 Eclipse のインストール

1. Eclipse のサイトから、「Downloads」→「Eclipse Indigo (3.7)」→「Downloads」をたどって、「Eclipse IDE for Java Developers」の Windows 32bit 用のアーカイブファイルをダウンロードする。
2. ダウンロードしたアーカイブファイルを、アーカイブユーティリティを使用して、任意の場所で展開する。
3. 「eclipse.exe」を起動する。

### 3.2 Eclipse プラグインのインストール

1. Eclipse を起動する。
2. 「Help」メニューの「Install New Software...」を選択する。
3. Work with に「Indigo - <http://download.eclipse.org/releases/indigo>」を指定する。
4. 「Modeling」を開き、中にある「Graphical Modeling Framework(GMF) Runtime」および「OCL End User SDK」にチェックを入れて、インストールを行う。

### 3.3 D-Case Editor のインストール

初めて D-Case Editor をインストールする場合は、以下の手順を行う。

1. Eclipse が起動していない状態で、「dropins」フォルダに、D-Case Editor の jar ファイルをコピーする。
2. Eclipse を起動する。
3. 「Help」メニューの「About Eclipse Platform」を選択する。
4. ダイアログの左下にある「Installation Details」ボタンを押下する。
5. 「Plug-ins」タブを選択すると、プラグイン一覧が表示される。  
その中に、D-Case で始まるプラグインがあることを確認する。

すでに D-Case Editor がインストール済みであり、バージョンアップする場合は、以下の手順を行う。

1. Eclipse が起動していない状態で、「dropins」フォルダをリネームし、空の「dropins」フォルダを作成する。
2. Eclipse を起動し、終了する。
3. 「dropins」フォルダを削除し、リネームした「dropins」フォルダを元に戻す。
4. D-Case Editor の jar ファイルを差し替える。
5. Eclipse を起動する。
6. 「Help」メニューの「About Eclipse Platform」を選択する。
7. ダイアログの左下にある「Installation Details」ボタンを押下する。
8. 「Plug-ins」タブを選択すると、プラグイン一覧が表示される。  
D-Case Editor のプラグインのバージョンが更新されていることを確認する。

### 3.4 テンプレートプロジェクトのインポート

1. Eclipse を起動する。
2. 「File」メニューの「Import...」を選択する。
3. 「General」を開き、中にある「Existing Projects into Workspace」を選択し、下にある「Next」ボタンを押下する。
4. 「Select archive file」にチェックを入れ、「Browse...」ボタンを押下して、テンプレートプロジェクトのアーカイブファイル「D-CaseTemplate.zip」を選択する。
5. 「Copy projects into workspace」にチェックを入れて、右下の「Finish」ボタンを押下する。